

BeFine!

第49期 | 第1四半期株主通信

2015年4月1日～2015年6月30日

証券コード 6869

まもる君と学ぶ! 検査の最前線 ② 5ページ

血液凝固検査



シスメックスは「第5回神戸マラソン」
を応援しています

2015年11月15日(日)開催

 シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト
<http://kobe-marathon.sysmex.co.jp/>

神戸市役所前(神戸市)

好調な海外を中心に、 大幅な増収・増益を達成しました。

第49期
第1四半期の
ポイント

ポイント
1 中国やEMEA*をはじめ、
全ての所在地において増収を達成

ポイント
2 増収効果に加え、円安(ドル・元)の影響もあり
利益が大幅に増加



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2016年3月期 第1四半期の業績は、ヘマトロジー分野*の機器・試薬を中心に売上が伸長し、増収を達成しました。また、増収効果に加え、ユーロは円高で推移しましたが、ドル、元における円安の影響もあり、利益が大幅に増加しました。売上高は前年同期比23.3%増、営業利益は同28.8%増、経常利益は同32.8%増、四半期純利益は同44.7%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比15.0%増、営業利益は同4.6%増となります。

国内は、ヘマトロジー分野や免疫検査分野を中心に伸長し、増収となりました。海外は、中国やEMEAの売上が好調に推移するなど、現地通貨ベースでも全ての所在地において増収を達成しました。特に中国では、血液凝固検査分野を中心に機器の売上が増加したほか、機器の設置台数の増加に伴い試薬の売上も伸長し、売上高が前年同期比44.3%増と大幅な増収となりました。これにより、当社グループの海外売上高比率は86.5%となりました。

なお、2015年5月に公表した2016年3月期通期の連結業績見通しに変更はありません。

当社はEMEAにおける今後の試薬の需要増加に対応するため、ドイツの試薬生産工場を拡張しました。これまでにも、2012年には中国および兵庫県小野市の試薬生産工場を、2014年にはシンガポールの試薬生産工場をそれぞれ増強するなど、グローバルに試薬の供給体制を強化しています。今後も世界各地の市場環境や成長にあわせた生産体制を構築し、世界中のお客様へ安定的に製品をお届けしてまいります(トピックス参照)。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

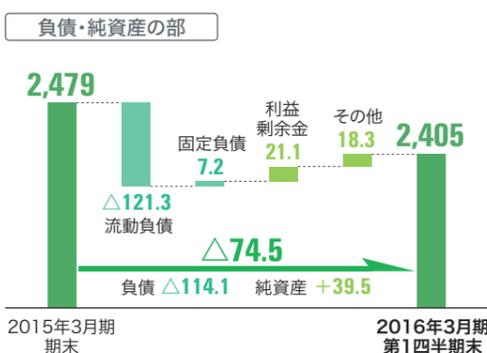
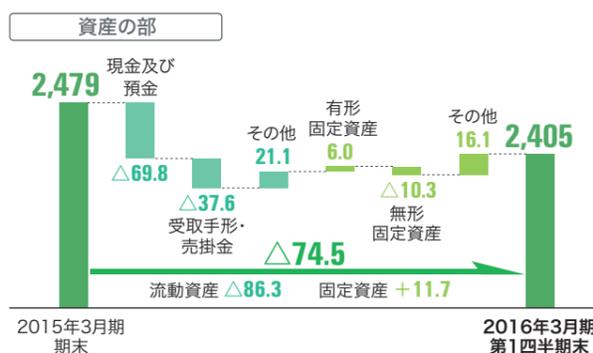
家次恒

いえつく ひさし

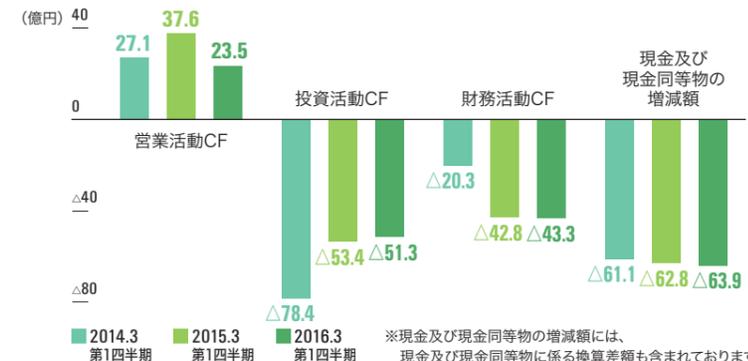
【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。

【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

●貸借対照表の増減要因 (億円)



●キャッシュ・フローの推移



ウェブサイトのご案内

「よく分かる! おはなしシリーズ」を公開中!



さまざまな病気について分かりやすく
絵本でご紹介しています

ぜひ
ご覧ください。 www.systemex.co.jp

※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

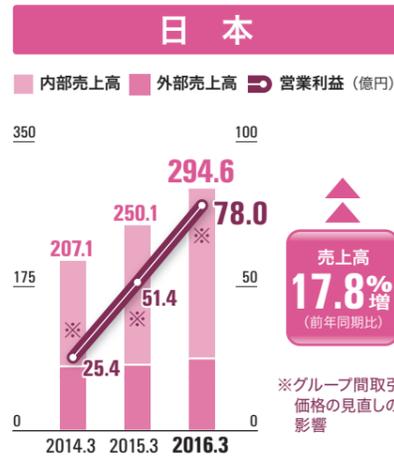
*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

所在地別
セグメント

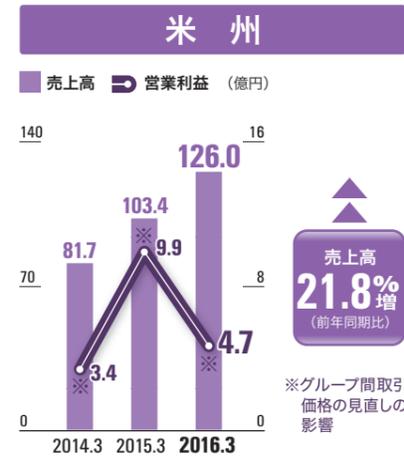
(為替レート) (円)

	2014年 3月期 第1四半期	2015年 3月期 第1四半期	2016年 3月期 第1四半期
1USDドル	98.8	102.2	121.4
1ユーロ	129.0	140.1	134.2



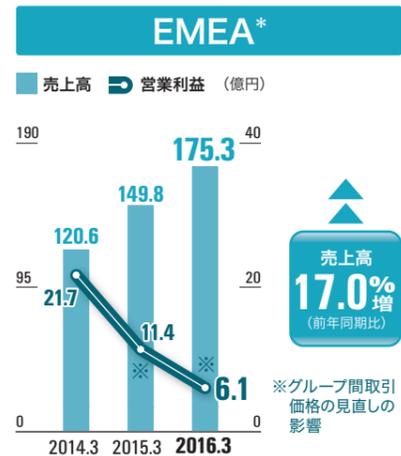
内部売上高：関係会社への輸出など
外部売上高：日本のほかに、IDEXX社向けなどの売上を含む。

- 1 日本市場は試薬の売上が堅調に推移し、微増となりました。
- 2 海外関係会社向けの内部売上の増加や、グループ間取引価格の見直しの影響により、増収・増益となりました。



現地通貨ベース 売上高 **2.5%増** (前年同期比)
営業利益 **60.2%減**

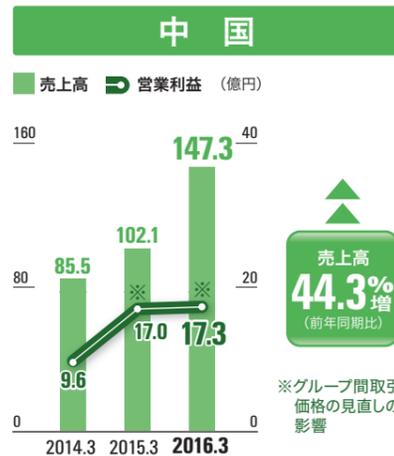
- 1 中南米では減収となるも、米国で試薬・サービスの売上が伸び、増収となりました。
- 2 販売・サービス活動の強化に伴う費用の増加などにより、減益となりました。



現地通貨ベース 売上高 **22.2%増** (前年同期比)
営業利益 **43.8%減**

- 1 主要5カ国*を中心に、ヘマトロジー分野*などが好調に推移し、大幅な増収となりました。
- 2 二桁増収となるも、グループ間取引価格の見直しの影響や販売管理費の増加により、減益となりました。

*ドイツ、イギリス、フランス、スペイン、イタリア

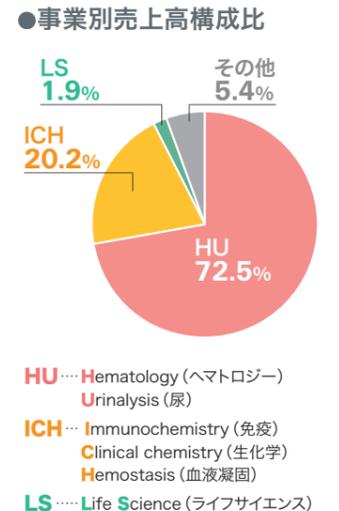
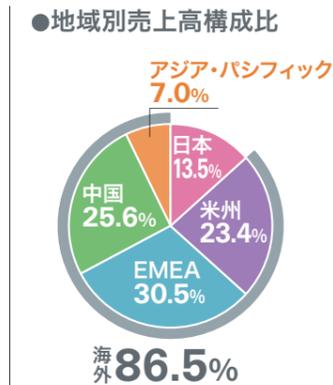
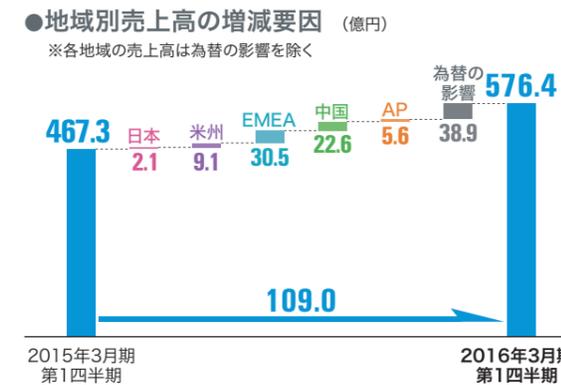


現地通貨ベース 売上高 **22.0%増** (前年同期比)
営業利益 **13.6%減**

- 1 血液凝固検査分野や免疫検査分野において、機器・試薬の売上が伸び、大幅な増収となりました。
- 2 グループ間取引価格の見直しの影響などにより、営業利益は横ばいとなりました。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

地域別・事業別セグメント



グローバルレポート

グループ全体でグローバルなコミュニケーションを推進

先進国では高齢化、新興国では医療環境の整備が進むなか、ヘルスケア市場は今後もグローバルな成長が期待されています。当社も世界43カ国に拠点を設け、グローバルに事業を展開しており、グループ従業員数は7,000名、海外従業員比率は50%を超えています。このような状況のもと、企業理念で掲げている「ヘルスケアの進化をデザインする。」というミッションの実現のためには、社内外のさまざまな価値観や知識を共有し、新たな価値を生み出すことが重要であると考えています。

当社は若手社員が海外現地法人で実務経験を積む

プログラムや、「グローバル人材交流プログラム」などを導入し、日本と海外の従業員同士の交流を促しています。さらに2015年4月には、多様な文化や価値観を持つ人々が集い、日常業務や立場を離れて議論を深め、ネットワークを広げる場として、「グローバルコミュニケーションセンター」を兵庫県芦屋市に開設しました。

今後も施設を積極的に活用し、多様な文化や価値観を持つ人々とのコミュニケーションを通して、新たな価値や文化の探求、創出に力を出し合うことを目指します。



今回のテーマ

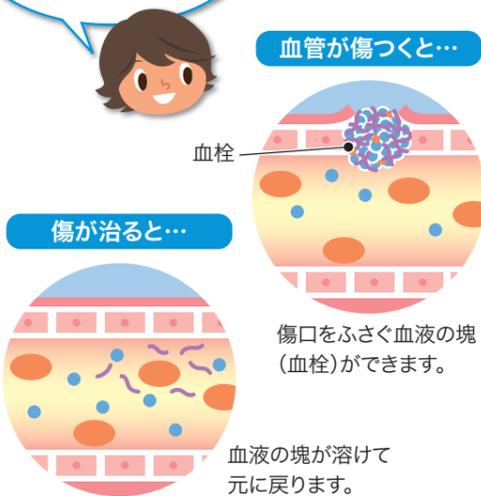
血液凝固検査

シスメックスが製品やサービスを提供しているさまざまな検査について解説する当シリーズ。第2回は、シスメックスが世界トップシェア※を保有している「血液凝固検査」についてご紹介します。

※シスメックスとシーメンスグループで世界トップシェア



「固める」と「溶かす」、正反対の働きが血液にはあるんだね



Q どんな検査？

A 血液を固めたり、溶かしたりする働きの状態を調べる検査です。

血液は通常、血管の中を流れて身体の隅々まで行きわたっています。しかし、ケガなどで血管の外へ出る（出血）すると、傷口の血液は自然に固まり、血液が身体の外へ流れ出るのを防ぎます。

血管の中で血液が固まらないのは、血液を固める作用と固まりすぎを抑える作用のバランスがとれているからです。また、いったん出血をした後、傷が治ると、傷口をふさいでいた血液の塊（血栓）を溶かして血流を元に戻す働きも、血液には備わっています。

健康な状態では、これらのバランスがうまく保たれています。「血液凝固検査」は、血液の固まり具合などから、そのバランスが崩れていないかを調べる検査です。

Q どのような病気を調べるの？

A 主に、血液が「固まりすぎる病気」と「固まりにくい病気」を調べます。

血液を「固める」と「溶かす」、このバランスが崩れ、どちらの働きが強くなりすぎても病気になってしまいます。血液を「固める」働きが強すぎると、血液の塊ができやすくなり、血管が詰まる病気（血栓性疾患）を引き起こします。逆に、血液を「固める」働きが弱すぎると、ケガをしても血液が固まりにくい病気（出血性疾患）の原因になります。

血液凝固検査は、このような病気の診断をはじめ、病状の把握や治療効果の確認、薬の量の判断などに役立ちます。また、手術中に大出血を起こさないように、手術前に血液の固まりやすさを確認するためにも行われます。



◆ シスメックスの取り組み ◆

グローバルに検査の需要が高まるなか、製品ラインアップの充実で幅広いニーズに対応

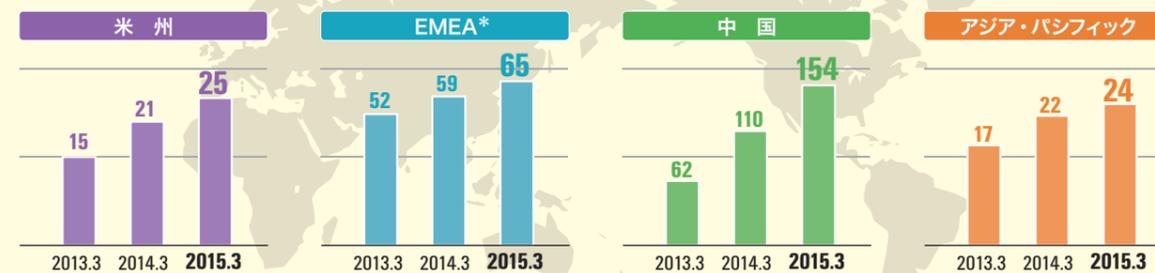
かつては手作業で行われていた血液凝固検査も、現在では自動化が進み、多くの検査室で、検体をセットするだけで検査が完了する全自動式の検査機器と試薬*が活躍しています。シスメックスは、血液凝固検査に使われる試薬で世界トップシェアを誇るシーメンス社と1995年に提携し、両社で機器と試薬の相互供給を行い、血液凝固検査の分野でグローバルNo.1のシェアを保有しています。

また、近年は食生活の変化や高齢化などにより、血液凝固検査の中でも、心筋梗塞や脳梗塞などの「血栓性疾患」の検査が増えています。血栓性疾患の治療で

は、血液を固まりにくくする薬が使われますが、薬の量が多すぎても少なすぎても適切な治療効果が得られません。そこで、薬の効き目を確認し、適量を慎重に判断するために、質の高い検査の需要が高まっています。

このような需要は新興国を含め、グローバルに拡大しています。そこでシスメックスは、さまざまな検査ニーズに対応できるように、製品ラインアップの充実を進めています。従来から展開していた高機能モデルに加え、コンパクトモデルの充実にも力を入れており、比較的検査数の少ない施設などへ活用の幅を広げています。

血液凝固検査分野の売上高（単位：億円）



血液凝固検査分野における製品ラインアップ



*試薬：検体検査に用いられる医療用医薬品のこと。正確な検査結果を得るため、身体から採取した血液を薄めたり、血液中の血球を染めたりする役割があります。

*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

LabCorp社とがん遺伝子検査分野で提携

米国の大手検査センターであるLabCorp社と血液を用いたがん遺伝子検査技術の実用化に向けて提携しました。本提携は、当社子会社のシスメックス アイノスティクスの開発力と、LabCorp社の個別化医療におけるグローバルなリーダーシップの融合を目的としています。シスメックス アイノスティクスのBEAMing技術は、血液中のがん遺伝子を高感度に解析する技術で、実用化すると患者さんの身体的、経済的負担を抑えることが可能になります。今後は、世界各地で実施されるがん臨床試験にBEAMing技術を活用できるように、試薬やサービスを提供するなどの協業体制を推進し、実用化に向けた取り組みを加速していきます。



メディカロイドが医療用ロボットの本格開発に着手

当社と川崎重工業株式会社の合併会社であるメディカロイドが、世界で需要の拡大が見込まれる医療用ロボットの本格開発に着手しました。製品開発と並行して、設計、製造、販売、アフターサービスの体制を構築します。産業用ロボットの技術を保有する川崎重工と、検査・診断に関する技術や医療分野に幅広いネットワークを持つ当社の強みを活かし、メディカロイドの製品開発を支援していきます。

カンボジアで学術支援活動を推進

近年の目覚ましい経済発展に伴い、医療水準の向上に向けた取り組みが進むカンボジアでは、検査の質向上が課題の一つになっています。当社はカンボジア保健省と契約を締結し、カンボジアの検査の質向上に貢献する学術支援活動を開始しました。カンボジアの基準検査室*に導入されている当社の検査機器について、国際基準に基づいた維持管理を支援するほか、当社がこれまでに培った技術的、学術的なノウハウを現地の医療従事者に提供していきます。



契約締結時の様子

*基準検査室：地域や国の臨床検査室のモデルとなり、中核的な役割を果たす検査室のこと。

ドイツの試薬生産工場を拡張

当社は国内2工場、海外7工場で試薬を現地生産しています。グローバルな需要の増加に対応するため、2012年には中国の済南工場と兵庫県の小野工場を、2014年にはシンガポールの試薬生産工場を拡張し、試薬の供給体制を強化してきました。このたび、ドイツの試薬生産工場を拡張し、生産能力を従来の1.5倍に増強しました。同時に、ドイツの厳しい環境規制にも対応し、地球環境に配慮した工場となっています。今後も、各地の需要にあわせた生産体制を構築し、世界中のお客様へ安定的に製品をお届けしていきます。



ドイツの試薬生産工場の外観

会社概要

(2015年6月30日現在)

■商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION	■格付け	A+ (R&I: 格付投資情報センター)
■設立年月日	1968年2月20日	■従業員数	7,050名(連結) 2,461名(単独) *嘱託・パートタイマーなどを含む
■資本金	106億3,576万円	■主な事業内容	臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	■上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
■定時株主総会	6月	■証券コード	6869
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	■単元株式数	100株
■公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/	■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。	■同連絡先 (郵便物送付先・電話照会先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。